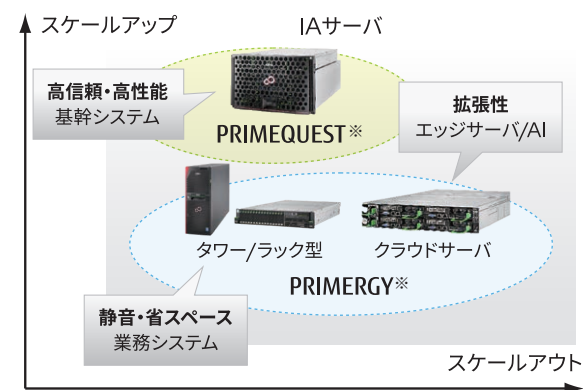


x86サーバのスケールアウト、スケールアップに対応

x86サーバ「PRIMERGY」、基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」、ストレージシステム「ETERNUS」を中心とするサーバ・ストレージの開発・製造・販売・保守にいたる機能すべてを2024年4月1日付けでエフサステクノロジーズ株式会社に統合いたしました。上記製品はエフサステクノロジーズから、システムインテグレーション／マネージトサービス／インフラサービスは富士通から、お客様／パートナー様にご提供する体制となります。エフサステクノロジーズでは、静音性と省スペースを実現したオフィス利用に最適なタワーサーバと高集積・省電力設計と高性能アーキテクチャを兼ね備えたラックサーバをラインナップするx86サーバ「PRIMERGY」と、デジタル時代を支える基幹業務システムや大量データの超高速処理に適した高信頼な基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」を提供しています。PRIMERGYは、最新テクノロジーの採用や省電力性の追求など、使いやすさとコストパフォーマンスに優れたグローバルスタンダードサーバです。主にスケールアウト型システムの中核プラットフォームとしてお客様ビジネスの拡大に貢献します。一方、PRIMEQUESTは、内部コンポーネントの徹底的な冗長化や高可用技術の採用など、メインフレームクラスの信頼性を有するオープンミッションクリティカルサーバです。高信頼だけでなく、その卓越した高性能とスケラビリティにより、お客様システムの安定稼働を支えます。PRIMERGY／PRIMEQUESTはRHEL認証を取得済みです。

機密データを社外に出さずに対話型生成AIの活用を短期間で実現するソリューションとして、Private AI Platform on PRIMERGY (以下PAPP) をご提供しております。エフサステクノロジーズで事前検証済の環境であるため、低コストかつ短期間での環境構築が可能であり、WebGUIも備えている為、導入後すぐに使えるReadyモデルとなっております。

システムプラットフォーム



Private AI Platform on PRIMERGY

コストパフォーマンスに優れた検証済プラットフォーム

対話型 生成AI基盤	Open AI互換API / Web GUI	社内データ
	検索拡張生成 (RAG)	学習済モデル
	言語モデル (LLM / VLM)	
	検証済コンテナ基盤 Red Hat Enterprise Linux	

生成AI基盤向け
ハードウェア PRIMERGY※

※PRIMERGY／PRIMEQUESTはエフサステクノロジーズ製です



今、仮想化による統合やクラウドネイティブによるシステム開発が急速に加速しています。そこで鍵となるのがオープンなテクノロジーです。Linuxやオープンソースソフトウェアを活用すれば、最新の技術を取り入れつつ将来にわたり、柔軟なIT基盤を手にできます。

富士通とレッドハットのLinuxソリューションなら、お客様のビジネスに最適化したIT基盤を構築できます。



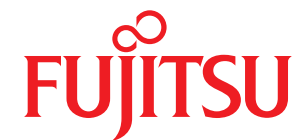
富士通株式会社

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/>



レッドハット株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート
TEL: 03-5798-8500 (代表) <https://www.jp.redhat.com>



選ばれ、信じられる理由がここに

富士通×レッドハットのLinuxソリューション

**世界標準のオープンソースソフトウェアと
国内有数の開発経験の融合で、
複雑化し、多様化する課題に応える。**



IT投資を最適化し、進化と成長の サイクルを実現

Linux/OSSを核とした富士通とレッドハットのIT サービス&ソリューションが、IT基盤の最適化を加速。

IT基盤見直しのカギは、オープンソースソフトウェア技術の有効活用にあります

企業のマネジメント層やIT部門は、新たなビジネスモデルを支える基盤、ITコストを削減するためのシステムの見直しなど、さまざまな課題を抱えています。それは過去にも繰り返されてきたことであり、今後も続いていくと考えられます。事実、経営環境は常に変化し、新しいテクノロジーは、今この瞬間にも生まれています。そこで重要となるのは、変化に対応しながら継続的な進化と成長のサイクルを生み出すIT基盤を確立することです。オープンで標準的な技術であるオープンソースソフトウェアを有効活用すれば、お客様主導でシステムのライフサイクルを確立できます。



マネジメント層が直面するビジネステーマ

- 「ビジネス環境の変化に迅速に対応できるIT基盤の整備」
- 「アイデアを形にし、付加価値を生み出すIT基盤を構築したい」
- 「ITを活用したマーケティングの充実や顧客満足度の向上」
- 「業務の見える化による意思決定の迅速化、収益の向上」
- 「ITを活用して業務の標準化を行いたい」
- 「新しい顧客サービスの展開のために、クラウドネイティブに興味がある」・・・など

IT部門が直面するシステム課題

- 「複数のOS、ソフトウェア、ハードウェアが混在し、IT基盤が複雑化」
- 「特定のベンダに依存しているソフトウェア、ハードウェアがある」
- 「システムのリプレースを考えているが、できるだけ過去の資産を活かしたい」
- 「運用の負荷とコストを減らし、新しいシステムの企画に注力したい」
- 「コストパフォーマンスに優れたIAサーバを有効に活用したい」
- 「コンテナを活用して、タイムリーにサービスを提供していきたい」・・・など

富士通とレッドハットは、LinuxベースのIT基盤で安心・安全・安定、継続的な成長を実現します

富士通とレッドハットが提供するLinuxベースのシステムなら、オープンソースソフトウェアのメリットを活かしてITのライフサイクルとお客様のビジネスのライフサイクルを同期させ、安心・安全・安定したIT基盤の上で継続した成長を実現できます。業務停止が許されないメインフレームやUNIXなどのミッションクリティカルシステムで培ったソリューションをLinux環境でも提供。基幹システムからWebアプリケーションまでIAサーバで統一できるので、複雑性も解消します。また、クラウド適用の実績も豊富で、お客様業務の変化に柔軟に対応でき、継続的な成長に貢献します。



今なぜオープンソースソフトウェアなのか？ ～世界中の技術者がOSSコミュニティを通じて継続的に機能強化～

オープンソースソフトウェアはコミュニティを通じ、全世界の技術者や開発企業によって継続的に機能強化され、基幹システムにも適用可能なソフトウェアとして着実に成長を遂げています。また、ソフトウェアの仕様が公開されているため、Slerやソフトウェアベンダがより高品質なサポート・サービスを提供できるうえ、お客様の業務ニーズへの最適化も容易です。さらに富士通はレッドハットとの協業・協力体制の下で、Linuxをはじめとしたオープンソースソフトウェアの機能強化や信頼性確保に尽力。富士通のミドルウェアやアプリケーションなど、お客様に対して常に豊富な選択肢をラインナップすることで、費用対効果に優れたソリューションを提供します。

IT基盤でのオープンソースソフトウェア活用において、富士通とレッドハットが選ばれ、信じられる理由

- ・世界標準のLinuxを日本発のソリューションへ…………… P.4-5
- ・基幹業務からクラウドにおよぶ幅広いカバレッジ領域…………… P.6-8
- ・国内トップクラスのOSS技術部隊による設計・構築サービス…………… P.9
- ・システム運用に合わせたサービスレベルを提供…………… P.10
- ・99%以上を富士通内で解決できる安心…………… P.11

強力なアライアンスで、長期利用可能な Linux IT基盤を提供

ミッションクリティカル領域でのオープンソース利用を、その黎明期から支えてきたレッドハットと富士通。多様なニーズに応じてきたパートナーシップが、システムトータルでの長期安定稼働を支援します。

ミッションクリティカルな領域で選ばれ、世界標準となっているRed Hat Enterprise Linux

Red Hat Enterprise Linuxが世界標準となっている理由は、費用対効果＝コストだけではありません。事実、ニューヨーク証券取引所(NYSE)など、コンマ数秒単位でも遅延が許されない金融業界をはじめ、ミッションクリティカルな領域での採用が進んでおり、メインフレームレベルの信頼性を実現しています。さらに、標準的な技術、低コストなどのオープンソースソフトウェアのメリットを活かして、クラウド(SaaS、PaaS、IaaS)の分野での導入も加速。複数のOSが混在するIT基盤を共通化するプラットフォームとしても注目されています。

長年にわたる富士通とレッドハットとの強力なアライアンス

富士通とレッドハットは、2003年のミッションクリティカル領域でのLinuxソリューション提供のグローバル提携を皮切りに、業界初となる共同開発推進室の設置やミッションクリティカル向けサポート・サービスの提供などで協業関係を強化してきました。それは、単にサポートだけにとどまらず、コミュニティやレッドハットとのアライアンスを通じて、Linuxの開発にも寄与しており、そのノウハウもお客様のシステム構築に活かされています。また富士通では、日本国内だけでも400名を超える専任の技術者がLinuxの開発・サポートに携わっており、Linuxカーネル(OSの基本をなすコア技術)の開発実績は国内ベンダNo.1。関連ソリューションの技術者はさらなる多数に。その技術力と人員を活かしてさまざまな問題に迅速対応し、お客様のIT基盤へのLinux導入を力強く支援する体制を整えています。

富士通とレッドハットの協業体制

サポートサービス
・長期間サポートストリーム、高いSLA
・年一回の計画保守によるUpdate適用
➤お客様からのフィードバックにより実現

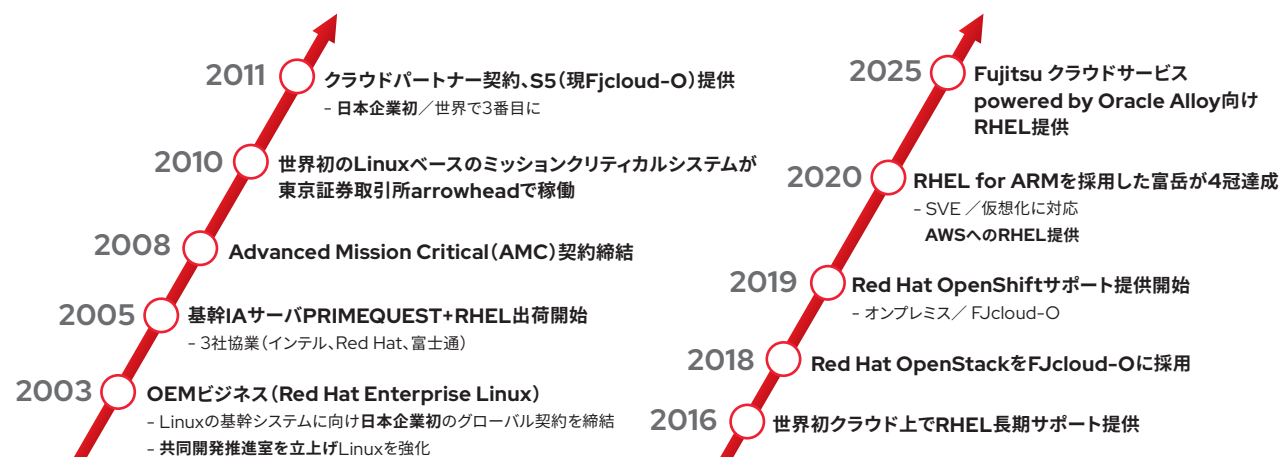
世界トップクラスの強い協業関係

エンジニアリング協業
プロダクト・エンジニアリングの幹部と定例
➤富士通の高い技術力が基盤

ビジネス推進協業
両者のエクゼクティブ間で定例
➤富士通の多数のサポートボリュームが基盤

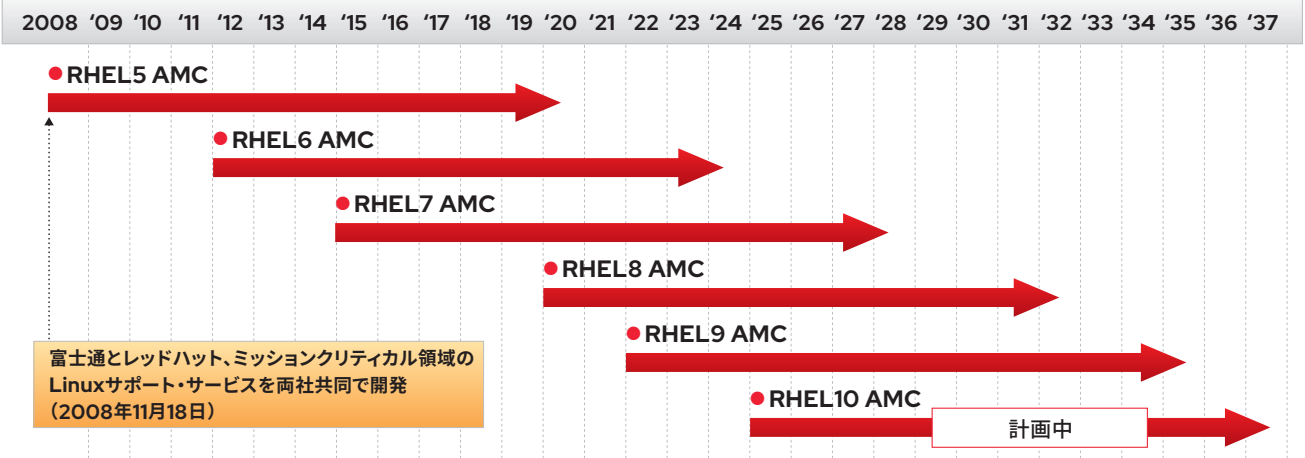
富士通とレッドハットの協業の歩み

2003年 Linuxの基幹システム適用に向け協業開始、仮想化／クラウドへ拡大



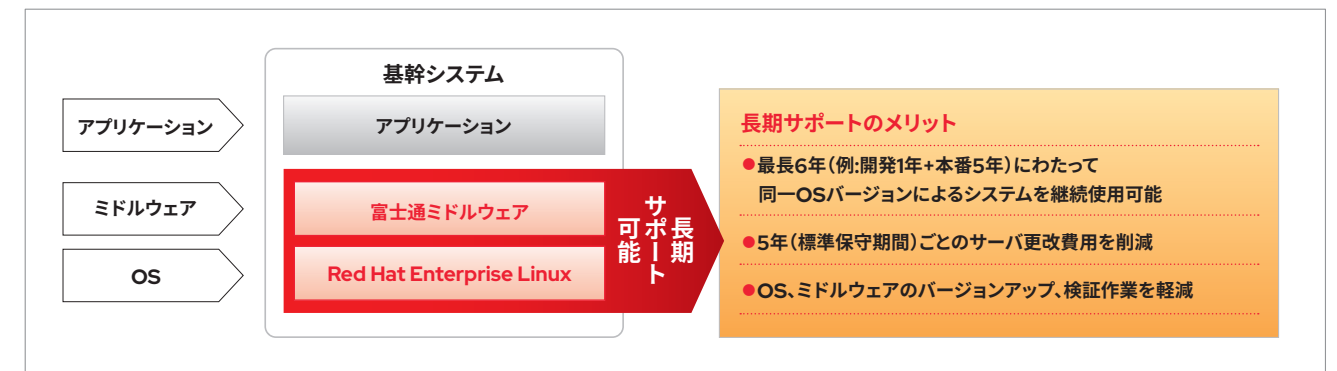
日本のお客様の声に耳を傾け、2社共同でミッションクリティカルシステム向けLinuxソリューションを提供

2008年11月、富士通とレッドハットは世界トップクラスの強力な協業関係を活かし、世界初となるLinuxのミッションクリティカル向けサポート「Red Hat Advanced Mission-Critical Program (AMC)」の提供を開始しました。AMCは、富士通が中心となって日本国内のお客様からの要望をベースに開発した日本発のLinuxソリューションです。AMCにより、ミッションクリティカルシステムに求められる高SLA、長期サポートを実現することで、Linux適用領域がさらに拡大しました。AMCはその後、幅広いベンダに採用され、富士通のLinuxに対する先見性と業界におけるリーダーシップが認められました。また、2012年4月、富士通は、RHEL5 AMCの実践で得られたノウハウやお客様の要望をRHEL6 AMCへフィードバックし、AMCを改良、対象マイナーリリースの増加・修正提供期間の拡張を実現しました。さらに、富士通とレッドハットは、開発プロセスからサポート・サービス、ドキュメントといった細部にわたる改善事項まで、両社のお客様が満足する施策を、両社の幹部を交えてフェイス-toフェイスで議論し、コミットメントしています。これにより、ビジネス推進、エンジニアリング、サポート・サービス改善に至るまで、共同でLinuxに対する情報提供、新機能開発、サポート強化などを実現します。



ミッションクリティカルシステムに求められる長期サポートをシステムトータルで実現

富士通では、定型的な業務サービスを長期にわたって安定供給しなければならない社会システムへの適用ニーズや、基幹システムの長期稼働ニーズに応えるために、サーバ、ストレージ、ミドルウェアの長期サポートを提供しています。さらに、レッドハットとの協業によるAMCの提供により、システムトータルでの長期安定稼働を実現します。IT投資が抑制傾向にあるなかで、システムの長期稼働ニーズは拡大しており、社会システムや金融機関を中心に2,000システム以上の企業で適用されています。



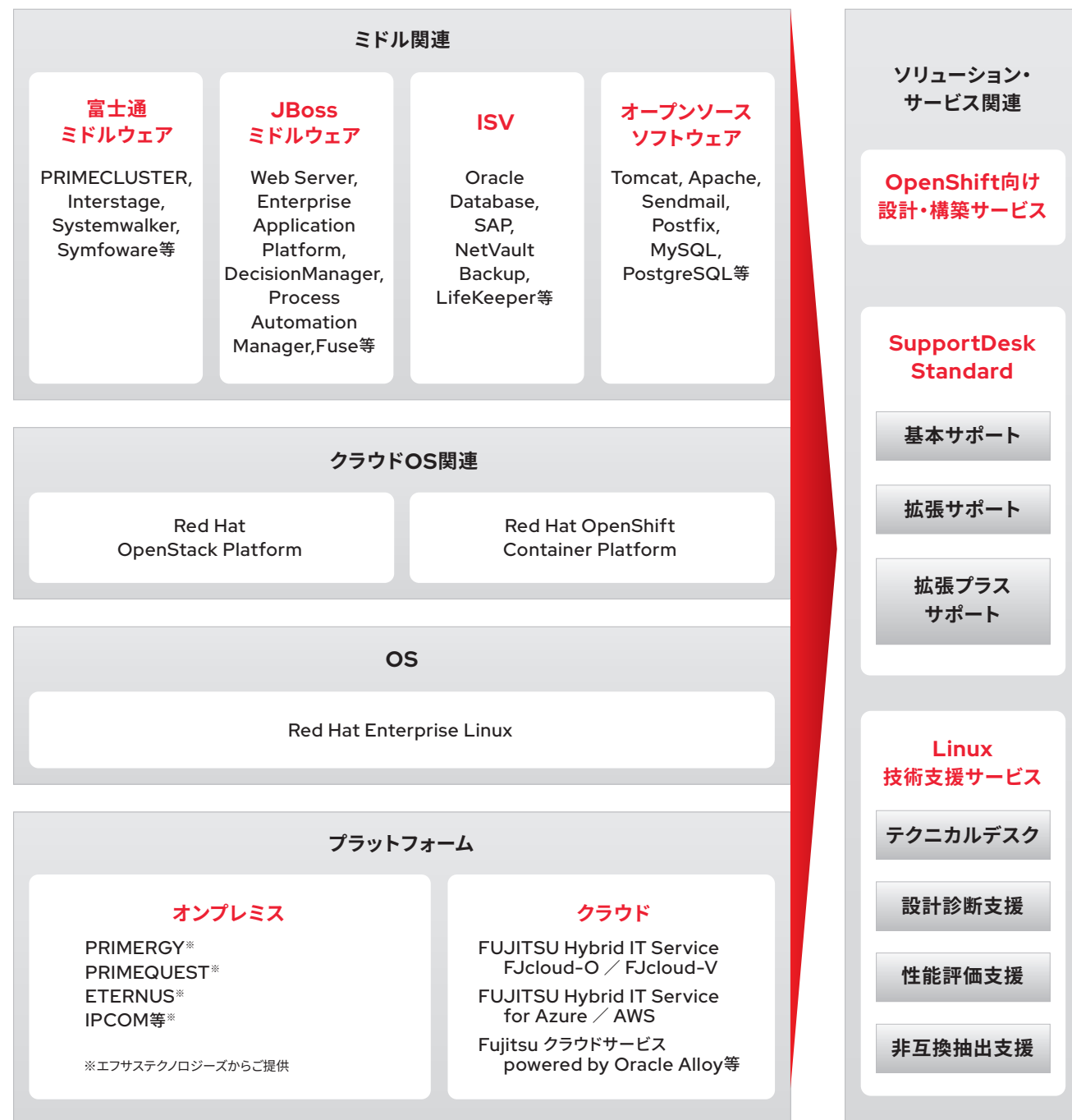
IT資産を最新化。競争力強化を視野に、モダナイゼーションを実現

プラットフォームから、ミドルウェア、アプリケーションまでLinux への最適化を支援。
オンプレミス、クラウドといった環境を問わず、ビジネスニーズに 合わせたシステム基盤構築をサポートします。

ハード、OS (Linux)、ミドルウェアを含めたトータルソリューションを検証環境とともに提供

富士通は、サーバプラットフォーム+Linuxだけでなくミドルウェアを含めたトータルなソリューションを提供。さらに、各種サービスやクラウドと組み合わせることで、お客様の業態やニーズに合わせた最適なIT基盤を提供します。

IT基盤を支える富士通とレッドハットのソリューション



Linuxを知り尽くした富士通のプロフェッショナルが お客様のビジネスに最適なIT基盤構築を強力に支援

Linuxを知り尽くしたプロフェッショナルが、お客様の課題解決を迅速かつ確にサポート。システムの早期安定稼働を実現します。富士通は、お客様のビジネスに最適化されたIT基盤構築を支援するため、長年の経験と実績に基づいたLinux技術支援サービスを提供しています。設計、構築、テストといった各工程において、最新の知識を持つLinux専任技術者が、お客様の課題解決を迅速かつ確にサポートし、システムの早期安定稼働を実現します。

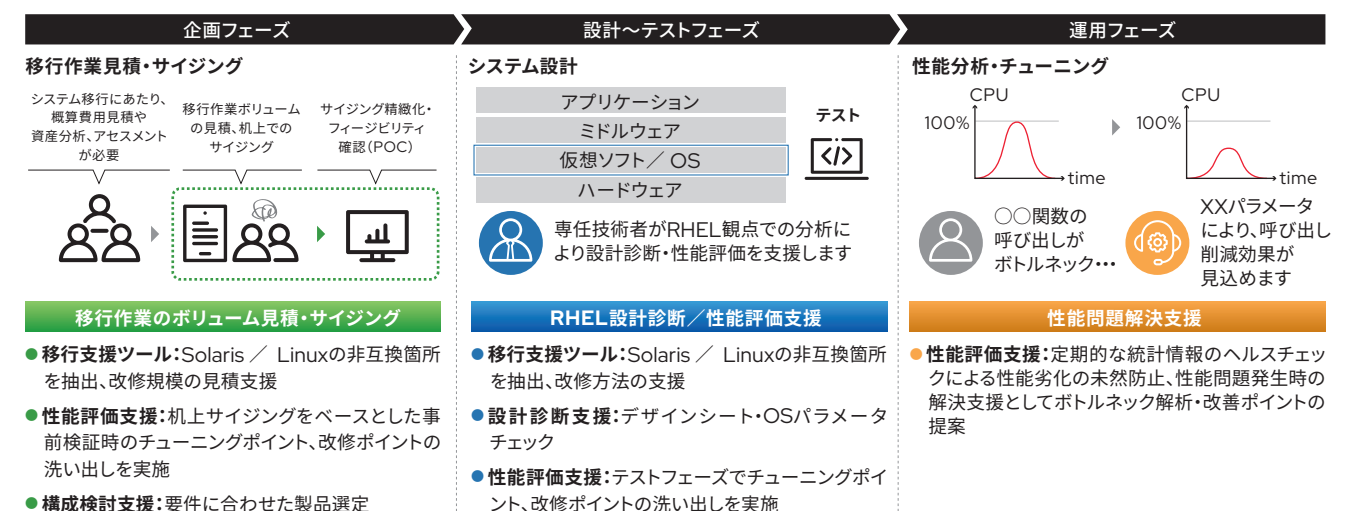
お客様のニーズに合わせた4つのサービス

サービス内容	
テクニカルデスク サービス	設計技術支援・よろず相談。Linuxに関するあらゆる疑問・課題にお応えします。
設計診断支援 サービス	お客様作成の設計値を、富士通のノウハウに基づき診断。潜在的なリスクを洗い出し、最適な設計を支援します。
性能評価支援 サービス	システム性能に関連する課題を設計段階から解決。検証時や運用時のトラブルをOS観点で分析し、問題箇所の特定と改善策を提案します。
非互換抽出 支援サービス	OS移行やバージョンアップをスムーズに。SolarisからRHELへの移行に加え、RHELのバージョンアップ時における非互換箇所を抽出し、移行作業を効率化します。(テクニカルデスクサービスとのセットで提供)

Solaris 技術者との連携で、お客様資産のモダナイゼーションを強力に支援

システムモダナイゼーションは、多くの不安や課題を伴います。富士通は、ミッションクリティカルな領域で選ばれ、世界標準となっているRed Hat Enterprise Linux (RHEL) ベースのサービスで、企画段階から運用に至るまで、Solaris と Linux 双方のノウハウを駆使し、効率的、安定的、スムーズな移行を実現します。

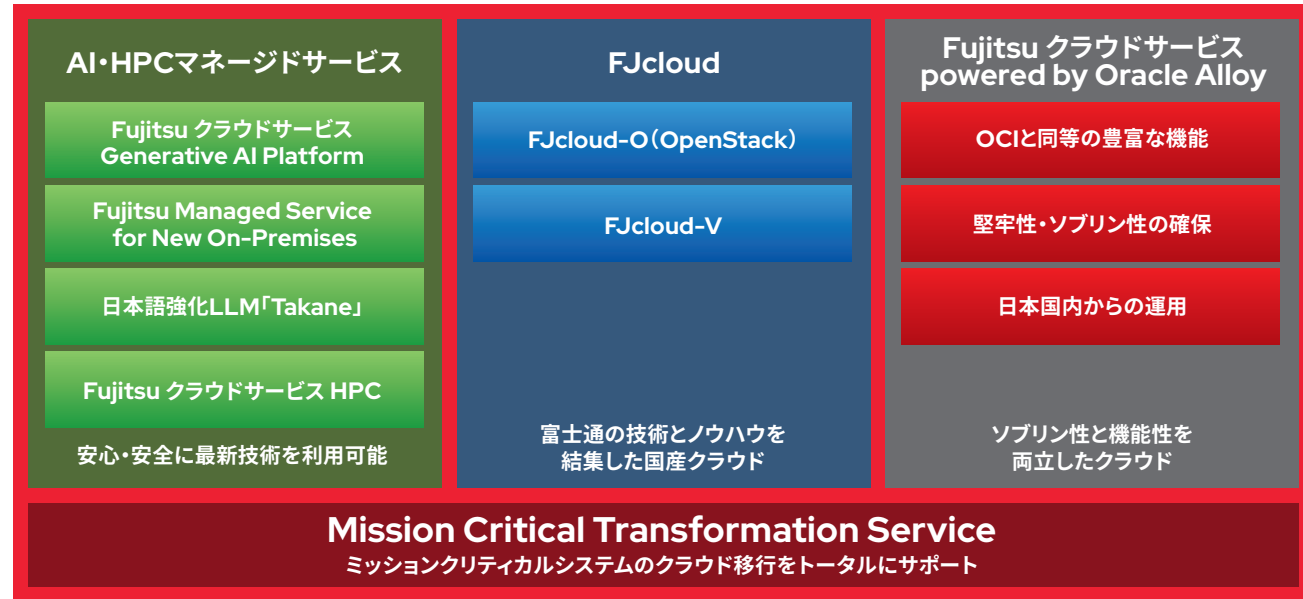
企画～運用までを対象に移行先のRed Hat Enterprise Linuxに関する技術支援を提供



テクニカルデスクサービス(よろず相談)

富士通のクラウドサービス・マネージドサービスのポートフォリオ

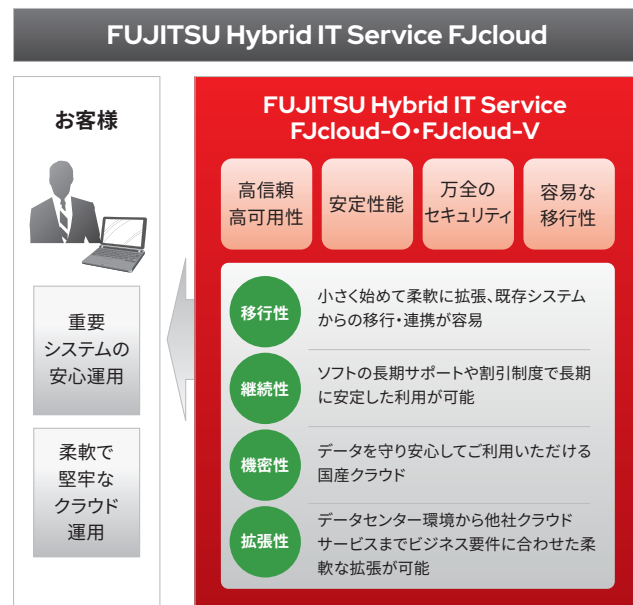
富士通では、お客様の多様なニーズにお応えするさまざまなクラウドサービス・マネージドサービスを提供しています。クラウドサービスにおいては、世界トップベンダの技術を採用した基盤を利用するエンタープライズ品質の国産クラウドである「FJcloud-O」に加え、富士通の国内データセンターからOracle Cloud Infrastructure (OCI) 同等の機能性とデータ主権・運用主権・法的主権・セキュリティ主権に対応する「Fujitsu クラウドサービス powered by Oracle Alloy」を2025年4月から提供しています。また、AIやHPC等の最新技術を安心安全にご利用いただけるマネージド型のサービスも拡大しており、ミッションクリティカルシステム向けの基盤と合わせて、最新技術を活用いただくことが可能です。



お客様の基幹システムのクラウド強化に向けた、安心安全な国産クラウド

■FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud

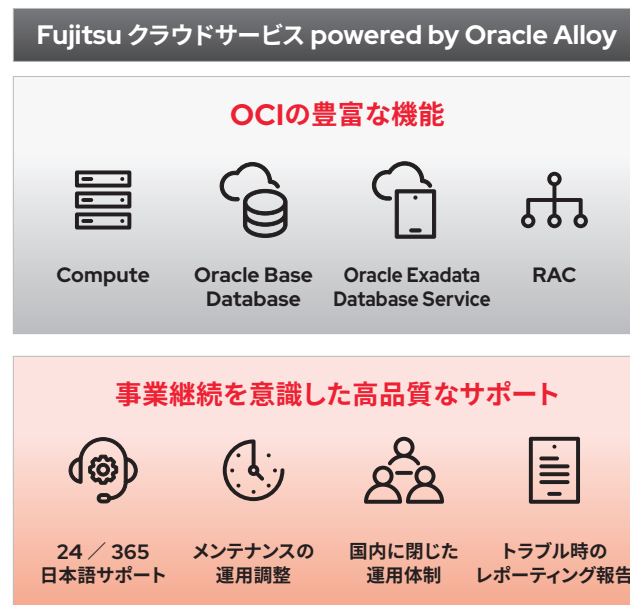
富士通では、エンタープライズ品質の国産クラウドとして、「FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud」を提供しています。基幹システムのクラウド化に最適な「FJcloud-O」、VMware vSphere環境のクラウド化に最適な「FJcloud-V」をはじめ、富士通が培ってきた基幹システム運用のノウハウやお客様の声を反映し、進化し続け、お客様の基盤システムを支えています。



4つの主権に対応し基幹システムを支える高機能・高性能なソブリンクラウド

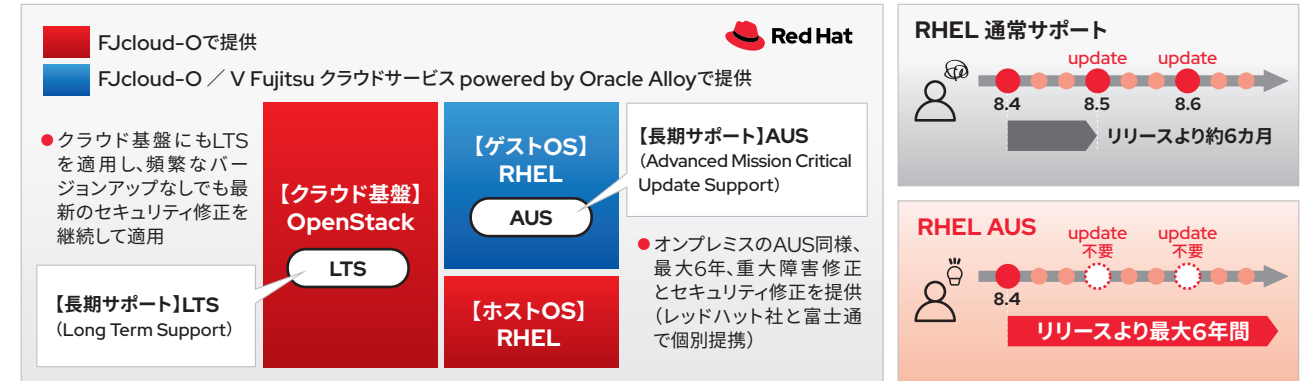
■Fujitsu クラウドサービス powered by Oracle Alloy

富士通の国内データセンターからOracle Cloud Infrastructure (OCI) 同等の機能性とデータ主権・運用主権・法的主権・セキュリティ主権に対応するソブリンクラウドを東西2拠点のリージョンから提供しています。OCIの豊富な機能に加え、高性能なExadata Database Serviceもご利用いただけます。



長期間の安定運用を可能にするサポート

FJcloud-Oはクラウド基盤にRed Hat OpenStack Platform、ホストOSにRed Hat Enterprise Linuxを採用しており、Linuxを知り尽くした富士通のプロフェッショナルにより、安定したクラウドを提供しています。FJcloud-O、FJcloud-V、およびFujitsu クラウドサービス powered by Oracle Alloyは、ゲストOSのRed Hat Enterprise LinuxにはExtended Update Support (EUS)に加えてオンプレミス環境と同様に長期サポート:AUS (Advanced Mission Critical Update Support)を提供しています。これにより、お客様は長期間に渡って安定した運用が可能となります。



信じられる理由 3 国内トップクラスのOSS技術部隊による設計・構築サービス

スタートアップサービスで、設計・構築の期間を短縮

OpenShift導入の環境設計から環境構築まで富士通が実施。サポートまで意識して高信頼性コンテナ実行基盤を導入します。専門技術者が支援するため、技術的な負担の最小化が可能です。

OpenShift導入に伴う技術的な不安を、専門技術者による高度な知見で払拭 プロフェッショナルサービスとサポートによる、高信頼性コンテナ実行基盤の導入支援

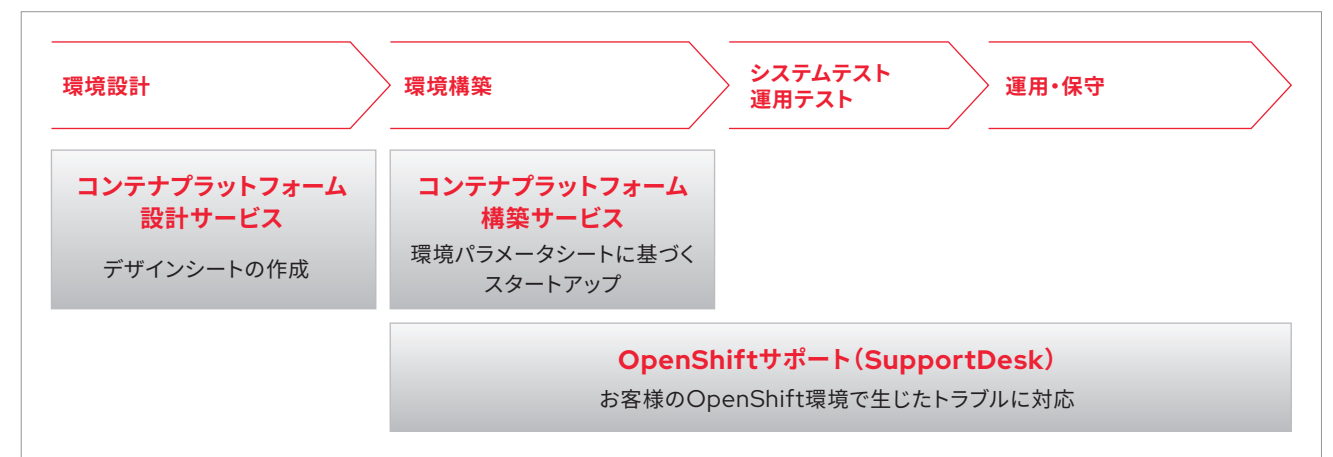
専門技術者による難易度の高いOpenShift環境設計・構築を代行するサービスを用意しております。ワンストップサポートを支援するOpenShiftサポートと組み合わせてご利用ください。

■コンテナプラットフォーム設計サービス

要件定義を元に、デザインシートを具体的に説明して、短期間で設計します。また、設計でのコンテナ技術の疑問に対して丁寧に解説します。

■コンテナプラットフォーム構築サービス

関連技術(オペレーティングシステム、ネットワーク、ストレージ、基盤など)を踏まえた上で、多種多様な前提知識(Linux、Kubernetesなど)も必要とされる構築手順を準備して構築します。

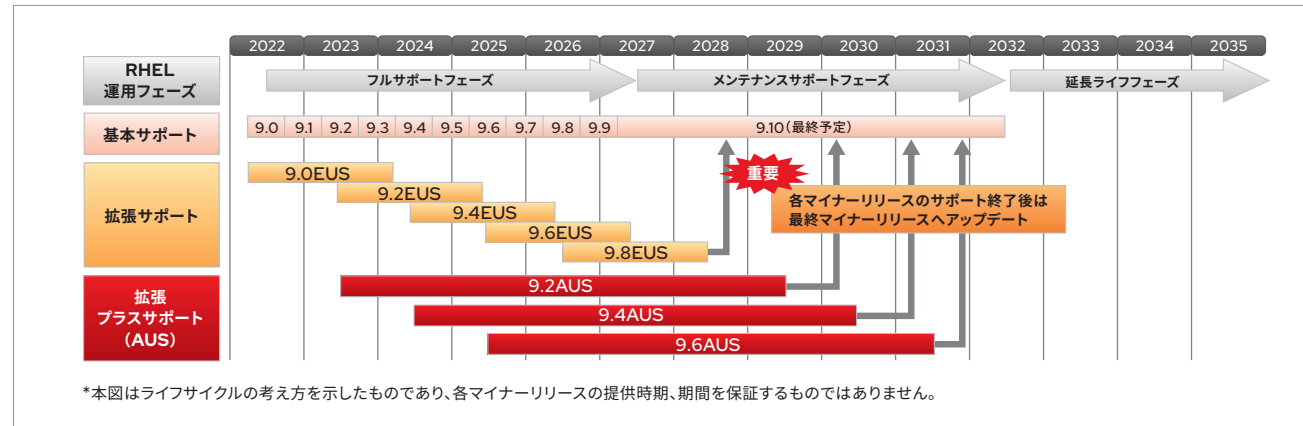


最長6年間のサポートメニューで、システム運用ニーズにきめ細かく対応

長期サポートが必要な稼働期間の長いシステムから、
常時最新のバージョンを必要とする業務まで、きめ細かく対応。
バージョン更新時の負荷を含め、運用コストの最適化を支援します。

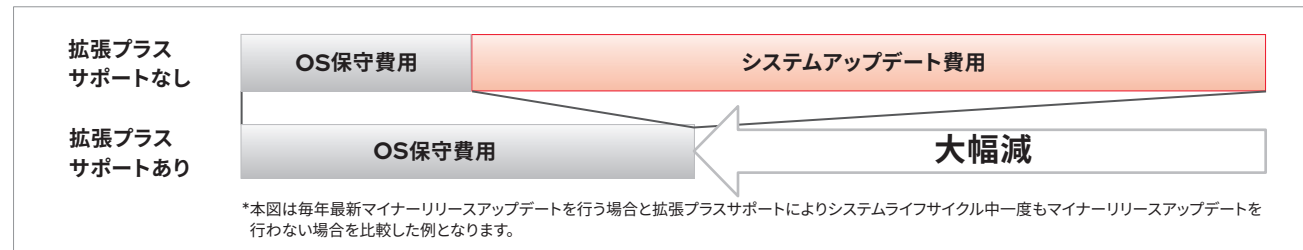
お客様のシステム運用に合わせたRHELサポートを提供

富士通が提供するRHELサポートは、常時最新のOSSバージョンを必要とする業務向けにはRHEL基本サポートを、計画的な保守作業が必要となる業務向けにはRHEL拡張サポートを、高度な安定運用、継続運用を求められる業務向けにはRHEL拡張プラスサポートを、といったお客様のシステム運用要件に応じたサービスレベルを選択いただけます。



RHEL拡張プラスサポートは最長6年間同一マイナーリリースを運用可能

レッドハットと共同開発したRHEL拡張プラスサポートは、特定のRHELマイナーリリースを最大6年間運用可能とします。これにより、高度な安定運用、業務継続を実現するだけでなく、大幅なシステム運用コスト削減につながります。容易に停止することのできない社会システムや企業の基幹業務システムといったミッションクリティカルシステムを適切なコストで運用するのに最適です。



幅広いプラットフォームに対応

富士通が提供するRed Hat Enterprise Linuxのサポート商品は、お客様システムのニーズ拡大に向けて、Fujitsu クラウドサービス powered by Oracle AlloyやAmazon Web Services (AWS)、Microsoft Azureといったパブリッククラウド環境にも幅広く対応しています。パブリッククラウドベンダが提供していないRed Hat Enterprise Linuxの長期利用が可能なサポート商品 (AUS) を、ご利用いただけることも大きな特長です。

	PRIMERGY	PRIMEQUEST	FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O / FJcloud-V / FJcloud-ベアメタル	FUJITSU Hybrid IT Service for AWS / for Microsoft Azure	Amazon Web Services / Microsoft Azure	Fujitsu クラウドサービス powered by Oracle Alloy
SupportDesk Standard Red Hat Enterprise Linux	対応	対応	対応	対応	対応	対応
基本サポート	○	—	○	○	○	○
拡張サポート (EUS)	○	○	○	○	○	○
拡張プラスサポート (AUS)	○ (※)	○	○	○	○	○

※ 対象ハードウェア/構成が限定されます。

ハードウェアも含めたワンストップサポートで、安定運用を強力に支援

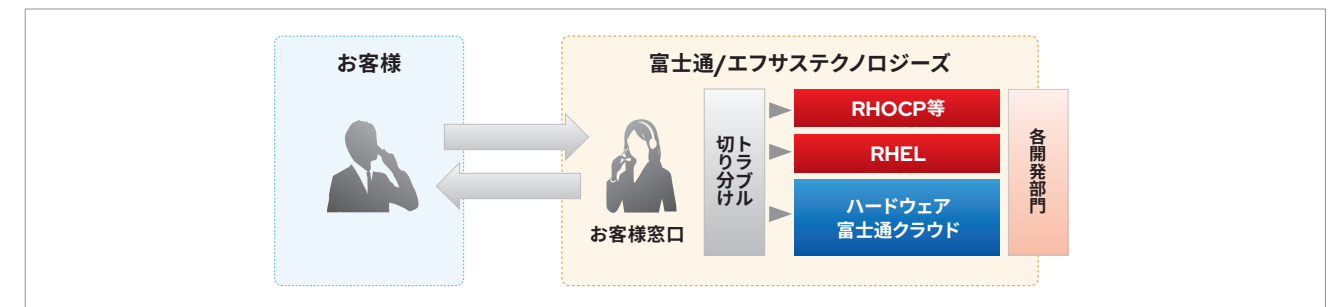
米国レッドハットとの「共同開発推進室」を通じて情報を共有。
富士通社内の専門技術者が、切り分けが困難な障害にもワンストップで対応することで、
システムの安定稼働を強力にサポートします。

Red Hat 製品取扱一覧^(*)

- Red Hat Enterprise Linux
- Red Hat OpenShift Container Platform
- Red Hat OpenStack Platform
- Red Hat Satellite / Smart Management
- Red Hat JBoss Middleware

ハード / Linux / ミドルウェアの問合せ窓口一本化で一括サポート

- Linuxはもちろん、PRIMERGY/PRIMEQUEST、Red Hat OpenShift Container Platform/Red Hat OpenStack Platform、Red Hat JBoss Middlewareをはじめとするミドルウェア製品に関するお問合せをOSC^(*)が受け付け、一括サポートを実施します。一括サポートにより、お客様負荷を軽減し、問題の早期解決を強力に支援します。
- 万一Linux関連のトラブルが発生した場合でも、99%以上富士通内で解決できるので、迅速に対応可能。お客様の業務停止時間を最小限に抑えます。Linux専門技術者によるQ&A対応、問題解決支援、修正情報の提供などのLinuxサポートにより、お客様システムの安定稼働を強力にバックアップします。さらに米国レッドハット内に設置した「共同開発推進室」を通じた緊密な連携により、より高度かつ高品質なサポートを提供します。
- 企業向けアプリケーション基盤を提供するRed Hat JBoss Middleware製品について、富士通は、レッドハットのJBossパートナーの中で最上位に位置づけられているJBoss Premier Business Partnerに認定されています。お客様システムの運用面で、レッドハットのテクニカルエンジニアと連携した高品質なサポートを提供します。
- ハードウェアのトラブル時は、全国最大級のサービス拠点より、2時間以内^(*)に訪問修理を実施します。



- 製品保守・サポートを実施する基本サポートに加え、お客様の運用条件に応じたサポートを実施する各種オプションサービスを用意。富士通がこれまでに蓄積した豊富なシステム運用支援の経験と技術により、お客様システムの安定稼働を支えます。



(*)1 ラインナップは順次拡大中。詳細は弊社営業または販売パートナーまでお問い合わせください。
(*)2 OSC: One-stop Solution Center SupportDeskご契約のお客様専用の総合サポートセンター
(*)3 サーバをStandard契約した場合の目標値。交通事情 / 天候 / 対象機器の設置地域などにより、サービスエンジニアの到着が当日2時間を超える場合や翌営業日の対応になることもあります。